

書道部

現部長 和泉友依子
前部長 加藤はるか
顧問 仲俣先生

書は恋人です。甲骨文字、木簡、隸書、造像記、行書：何百年、何千年も前に先人たちが心を込めて遺した様々な古典の中から各々運命の相手を選び出します。

恋愛に対する価値観が人それぞれ違うように、書道部部員の古典、すなわち恋をした相手への接し方も違います。

同じ系統の古典にばかり恋をする人。真逆のタイプの古典に二股をかける人。どこで出会ったんだ…というくらいマニアックな古典と長いお付き合いをしている人。特定の恋人をもたない人。様々です。

人柄、性格が書に表れるのです。しかし一途な人も浮気性な人も書道への思いは皆一緒です。誰もが本気の恋をするのです。古典との仲が片思いで終わらぬよう、私たちは毎日古典と真摯に向き合ひ、対話する努力を重ねています。

はるか先輩にはたくさんの、古典と出会う機会とアドバイスをいただきました。それから先輩に教わったことを生かし、これからは書道を極め、自然と結果がついてくるような活動に励みたいのです。

